

台風接近を口実にした 『MV 2 2 オスプレイ』の横田基地飛来に抗議する

7月6日(日)、横田基地司令官から基地周辺自治体へ「台風8号から避難するために、沖縄から『MV 2 2 オスプレイ』等が横田基地に飛来する」との通報があった。

ところで、これまで基地周辺の自治体では、5市1町の他にも多くの自治体とその議会で、横田基地へのオスプレイ配備に反対する姿勢が鮮明にされてきたことは周知のことである。それにも関わらず、台風8号からの避難を口実に、MV 2 2 オスプレイを横田基地へ飛来させるという暴挙は、断じて許されない。

そもそも、沖縄を始め我が日本列島は、古来より台風の通り道になっている。東京も横田基地も、これまで何度も台風の直撃を受けてきた。台風が来るからと言う理由で、いちいち航空機を避難させる必要があるなら、最初から沖縄を始め日本に配備しなければ良いのであって、今回の台風接近を口実にしたMV 2 2 オスプレイの横田基地飛来通告は、誰がどう考えても理解も納得もできるものではない。

世界有数の広い国土を持つアメリカ合衆国なら、台風の心配のいらぬ場所はいくらでもあるはずだ。我々はこれまでもMV 2 2 オスプレイを始め、全ての米軍機を「アメリカ合衆国に持ち帰り！」と言ってきた。我々は今回の台風接近を口実にした飛来通告は、『集団的自衛権発動』と連動した「横田基地へのオスプレイ配備強行の下準備」と考えている。

アメリカ合衆国は、これまでの横田基地の航空機騒音を巡る裁判で、繰り返しその違法性を断罪されてきた事実を真摯に受け止め、日本に駐留する全ての米軍用機を、台風被害の心配のない本国へ持ち帰ることを、誠意を持って通告するものである。

また「北海道内の自衛隊基地でオスプレイの展示を行う。その中継基地として横田基地を使用する」との情報も得ているが、この行為も断じて許されるものではない。台風や中継基地などの姑息な理屈で地ならしをして、オスプレイ配備への反感を和らげようとするなど、「日本国民を愚弄するものである」と言わざるを得ない。

以上、今回の通報内容に抗議するとともに、オスプレイの横田基地への飛来を撤回するよう申し入れるものである。

2014年7月7日

第9次横田基地公害訴訟原告団

団長 福本道夫

第2次新横田基地公害訴訟原告団

団長 大野芳一